公民館報
こすど
発行所　小須戸町公民館
新潟郡中蒲原郡小須戸町
編集兼印刷人　矢部藍三郎

常任委員 教委 県立病院等
重要問題山積の
九月町会

定例九月町会は教育委員及地方自治法により、常任委員会の縮少それに伴う委員の配置、更に教育委員任命、また長い間の懸案である県立病院等の重要案件多数をソ上にのせて慎重審議された。次ぎに議決された主要議案の二、三をひろつて見よう。

常任委員の改正

九月廿六、七両日に亘つて開催され、種々の重要案件が議決された。

その内常任委員会は地方自治法の改正に伴つて町条例も改正され従来六つの委員会であつたものを三つに縮少し正副委員長を次ぎのように互選した。

総務文教長　井上　寛治
副　田中　重三
産業土木長　丸山清三郎
副　渡辺　進
厚生　副長　栄森　作司
副　保科　清作
正副議長は議長白井門蔵
副議長加藤徳七両氏留任

新教育委員任命

教育委員会法の改正により十月一日より発足する事となつた新教育委員は九月廿七日の町会の同意を得て左の五氏が選任された

田中　四郎氏
簑和清之十氏
海津　政吉氏
武沢秀三郎氏
佐藤　五郎氏

尚十月一日の初委員会に於いて任期は田中四郎氏（四年）簑和清之十氏（三年）海津政吉氏（一年）武沢秀三郎氏（二年）佐藤五郎氏（四年）と決定、互選の結果委員長海津政吉氏、委員長職務代理者、武沢秀三郎氏、佐藤五郎氏が教育長に任命されこの新陣容を以て町の教育行政の向上を目指し新発足した。

県立病院問題

去月二十四日全町の連絡員の参集を求め、病院問題の現段階を詳細説明し全町民の協力方を懇請したが、廿七日の町会に地元負担経費の予算を付議、種々検討の結果

長期債
一〇、三二五、六〇〇円
公会その他
二、五三〇、〇〇〇円
備品費
一、六〇〇、〇〇〇円
合計
一四、四五五、六〇〇円

を承認し、更に設置促進委員に次の十一氏をあげて、その対策に万全を期すことになつた。

委員　白井、加藤、井上、栄森、保科、丸山(清)、新井田(政)、渡辺(進)、渡辺(助)、森田、田中

高齢者の表彰

高齢者の表彰
八十八以上十三名を

去る九月八日小須戸小学校において、七十才以上四八五名を招待し、敬老会が催された。

今回の招待者の中、八十八才以上に達せられた藤田マツさん(九十四才)外十二名に賞状並びに記念品を贈り表彰。

なお、町連合婦人会より八十才以上の方々九十九名に記念品として風呂敷が贈られた。

午后引続き開催された赤い羽根募金興行として行われた「すわらじ劇団」公演を観覧され楽しい一日を過した。

八十八才以上の高令者

町名	氏名	年令
諏訪町	藤田マツ	九四
〃	五十嵐トラ	九〇
〃	吉田忠治	八九
横川浜	岡田鶴吉	八八
東蔵町	吉田清治	九三
出雲町	陸　イシ	九〇
新　保	川瀬タノ	八八
〃	岩崎キソ	九二
矢代田	金沢ヨリ	八八
天ケ沢	原　三郎	九〇
〃	伊藤ノブ	八九
矢代田	吉田ミチエ	九一
五之町	上田イラ	九一

七十才以上金婚式に達して、県より表彰されたもの、渡辺安久さん夫婦を始め五組あつた。

連合青年団 新役員決る

今年度連合青年団役員は次のように決定。

団長	五十田清一
副団長	会田　良治
〃	石本　寅一
事務局長	中野　武
教養委員長	斎藤　五郎
〃副	坂井　得英
体育委員長	穴沢　和彦
〃副	土田　繁男

所感(一)

一女生

「他人の事に口を出して欲しくない」と言われゝ、然としてこぼれている。

ば二の句が告げない私の立場ですが、日頃気になることを、一、二、三述べ賢明なる皆様の御批判を乞いたいと存じます。

其の一は「共有物は大切に」……此の言葉は今更私がとりあげても、少しでもいらないものまでもなく、小学生時代から云われてきた第三者には「どうせ共有物だから(どうでもよい)」が個々に充分注意していて云うのはおかしいが、もやはり時には忘れる事があります。私の住む近くに共同の水道が据えられてあります。ところがいつも気になる事は、この水道が時々いらない水を出しています。というは今私が述べたところで事は使つた後、しつかりしめていかない為、水がこぼれているのです。

私が使に行く途中誰かが使うのだろうと、そのまゝ用をたして帰り……依頼なることを……がとても私は「おせつかいかしら」と思い乍らもしつかりと使うのだろうか」と疑問を抱かずにいられない。おそらく自分の物ない。私は勿体ないと思うだけでは云えない事実だが、これは云つても毎日でるこのゴミをどこへやつたらよいやら……

其の二は「小須戸の誇りの山、かくせない事実だ山、臭気、何ともいない家暗しされ」と皮肉を言われ、落胆して帰つた。成程、私はこの事を前々から気にしていた。

ところもあろうに人通りのはげしい橋の上から良く見えるゴミの山、かくせない事実だがと言つても毎日でるたくさんのゴミをどこへやつたらよいやら……何か良い方法はないものでしようか？衛生係をやつていなさる方、何か良き案をこうじて下さい。（目立たぬところに決めるとか）

小須戸　A子

県立病院
いよ〳〵工事に着手

九月町会において地元負担経費約壱千四百四拾五万円の予算を承認したが、其の后去る十三日臨時町会を開催、七日夜旧小学校における公民館主催の村山、吉岡、小野、三県議の報告演説会を明らかにされた県当局の意図、県議会に於ける委員会、本会議ともに予算書付きの請願書の採択等の新事実により、今や問題は新らしい段階に進展したものとし、県の予算化をまたず早急に建設工事に着手する事を満場一致承認した。二十七日地鎮祭を執行し早速第一期工事として旧体育館の堤外移転を行いそれと並行し出来得れば十二月県会に予算化を実現すべく強力に運動を推進することとした。

皇居清掃奉仕会結成

皇居御構内の清掃奉仕団として、戦後、幾度か参加の機会を作られ、御世話下さつた元新保小学校長故田中耕作先生の亡き後、四年間とだいていたが、この度先生の後を受けて、去る九日小須戸町至誠会として誕生しました。

会長には坂井隆治氏(矢代田)副会長に星名正順氏(龍玄)に決定

奉仕団第一回
第二回について
左記の如く決定した
一、奉仕予定月
第一回　(四泊三日)
昭和三十二年三月下旬
又は四月
第二回　(四泊三日)
昭和三十二年十月下旬
又は十一月
二、出発日時
宮内庁に申請後、奉仕日決定次第通知、
三、経費一五〇〇円程度
(汽車往復を含む)
四、持物　米二升、野菜
調味料等若干
五、宿泊　皇居内三泊
六、募集人員
各回とも五拾名まで
七、申込〆切り
十月末日まで
八、事務所　公民館内

県公民館大会と
青木マツミさん表彰

今や全国的に町村合併も一段落して新しい町づくり村づくりに第一歩をふみ出している。亦一方教育委員会法も改正され制度の上でも大きな変化がもたらされている。

この時に当つて社会教育施設としての公民館の使命はいよ〳〵重く、かけられる期待も益々いものがある。

第七回県公民館大会は去る九月二十九、三十の両日にわたり新発田市本丸中学校において開催された、県内公民館関係者多数の参集のもとに第一日の分科会、第二日の全体討議を通じ終始熱心な研究発表、質疑応答が繰り返えされ、参会者一同明日からの公民館運動に明るい希望を見出し有意義に終了した。尚第一日に行われた表彰式に優良公民館として

佐渡郡新穂村公民館
坂尾市中央公民館の二館が、亦優良館長、職員として二十三名中の紅一点として当館の青木さんが県公連丸山会長より栄ある表彰を受けられた。

すわらじ公演御礼

去月八日共同募金興行として町民おなじみのすわらじ劇団公演致しましたる所、全町皆様の御協力と婦人会始め各団体の多大の御尽力により予期以上の成果をあげ上演経費を引き四万六百円を共同募金に繰入れる事が出来ました。町民皆様の御協力に感謝致しますと共に今后残余の募金につきましても御協力の程お願い致します。

共同募金委員会
公民館

十一月より農村部落へ
圖書出張貸出し

昨年の十二月小須戸町読書クラブが解散し、一般貸出しの一本立になつてから、いつとはなしに農村部の図書利用が少くなりましたので、なんとかして読んでいたゞきたい、読ませてあげたいと、図書運営委員の話題になつていましたが、色々と話合つた結果、図書運営委員の方達が、十一月より農村部の便宜を計つて、矢代田分館、横水分館、新保分館へ月三回づゝの出張貸出しの大奉仕をする事になりました。

此の仕事は相当努力のいるものと思われますが常に縁の下の力持になつて下さる図書委員の方方の熱意によつて奉仕されます。せいぜい公民館図書を御利用下さい。

ポンプ増強等
町水道の改造

水圧低下により今年夏頃より、新保、竜支、横水方面の部落では、水不足をきたしていたが、これを解消するため、このたび、町会では、新規に口径百五十粍三段タービンポンプ四十馬力一台を増強するとともに、これに伴う沈澱池改造並に其の他雑工事の総工費一九〇万円を承認した。

工事は本年度中に完工の予定で、完成後は、各部落の水不足は勿論ポンプ増強による偉力は部落末端でも水圧十五米以上となり、防火にも大きく寄与する。

共同募金に
御協力と御礼

昭和二十二年戦後の混乱のなかに初めて、共同募金が同胞愛の運動として全国一斉に行われてから、早くも九ケ年を経過いたしまして今年は十回目の共同募金を迎えることになりました。

開始以来経済的にも社会的にも不幸などん底にありながら毎年目標額を上廻る好成績を収めることが出来得ましたことは偏に町民各位の御支援の賜と深く感謝申上げます

今年の当町目標額は一金拾万八千七拾五円也と定り町民各位の貴い相互扶助精神によつて今年も昨年同様皆様方の絶大な御理解と御協力によりかがやかしい成績を収められます事を心から念願致しますと共に御協力を厚く御礼申上げます。

小須戸町共同募金委員会
会長　長谷川鉄太郎
町民各位

小須戸地名考

柏大治

数年前から地名については関心をよせているが案外むづかしく、小須戸にはわかつたようでわからない地名が多い。

やゝもすると一方的な学説にとらわれたり、こじつけに終ることがあるが解からないものはわからないとして先づ

◎横川浜から考えて行きたい、この地名は難かしい中の一つである。古くから浜辺だつたと信じられている村である。

横川浜は大同二年の開発にして人家ありたる由などと伝えられ、又応永十八年の居多文書にも浜郷税所と明えられているので郷土史家の間には海辺であつたと、定義付けられているが、先年民俗学者の小林存先生にも話したことであるが、横川は浜ではなく大川（信濃川）の間に横になつて見える村だと云う意味のことである。文献ばかり拠り処としないがこれにはうなずける文献がある。

同村本住寺の永禄年中の棟札には横河間村となつているからである。

これは小林先生も同感とされて早速県内地名新考に採用されておられるが、横河間が永年の間になつて横川浜をうみだしたのではなかろうか、それと同じに昔の横川は沼や川の湿地帯で大雨でも降ると一面海のような地形にあつたことが想像されるのである。

そうなると昔海だつたと云う越後古図の康平図や寛治図をとかく云いだす学者もあろうが、それならば横川浜の田畑から縄文、古墳土器などが続出しないはずである。

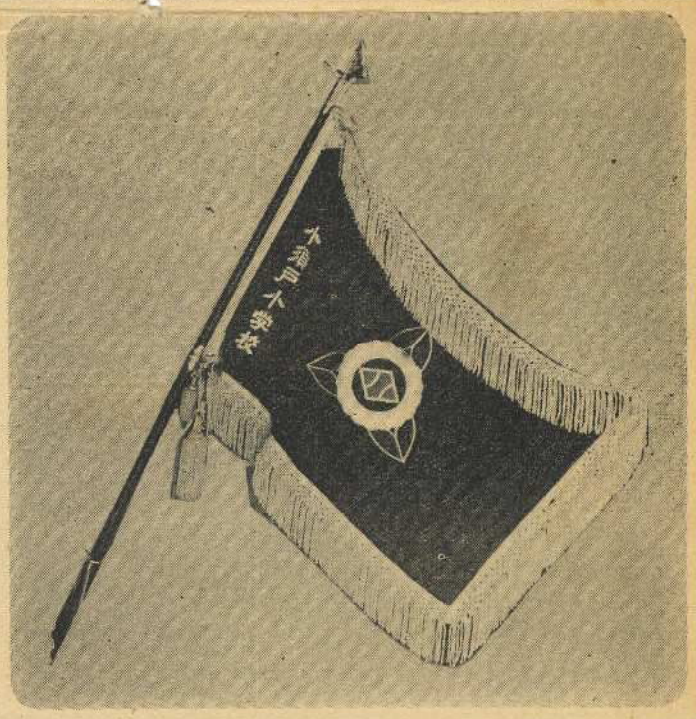
横川が開発されない以前すでに古代民族が住居していた形勢が察知できるから好んでこじつけている訳ではない、殊に横川の地名に注意しなければならないことは田上村と同湯脉を持つ湯川（温泉）の兄弟村で、弟が横川部落を開墾したのであると云われている。

従つて地名にも湯川と横川の因縁浅かざるもののあることを見逃してはなるまい。川があるからと云うて川の地名を必要としない。なんでもよいわけである。この地名はおそらく部落民自体の名付けた地名ではなく本家の湯川が真横に見える分家を親愛の情をこめて朝夕湯川から眺めて呼び名として横川間と名付けた地名であるまいか。

（続）

校旗、校歌制定なる

〜小須戸小学校〜



町民皆さんの援助と協力PTAの努力によつて待望の小須戸校の校旗と歌がりつぱに出来上つて去月二十三日校旗の樹立式を行つた。

小須戸校では深甚なる謝意を表すとともに収支決算を次のように発表した。

収入の部

一、金拾壱万七千四百七拾円也　寄附金総額

支出の部

一、金四万円也　校旗一旒附属品代

一、金五万円也　校歌作詞作曲謝礼

一、金弐千九百参拾円也　作詞者自動車代（送迎及町回り）

一、金弐千弐百参拾円也　作詞者宿泊料及接待費

一、金参千七百円也　作詞者旅費土産代

一、金七百円也　趣意書その他用紙代

一、金参百八拾円也　電報電話等通信費

支出合計金　九万九千九百四拾円也

残高の部

一、金壱万七千五百参拾円　残金はPTA常任委員会の協議により小学校の教育施設費に充当することに決定した。

防火用水より淡水クラゲ発見

県内で始めてという珍しい淡水クラゲが四番町旧小学校のところにある防火用水で発見された。この淡水クラゲは、防火用水のある梅田町、久保光正君（中学三年）が防火用水で泳いでいるのを発見したものである。

久保君が用水より取り学校に持参し、理科担任櫛田先生に見てもらつたところ、淡水に棲むクラゲと解り、四日新潟大学生物学教室に持参して調べたところ、この淡水に棲むクラゲは新潟県で発見されたのはこれが最初だと解り、今後研究にむやみにとられては困るので防火用水よりこの淡水クラゲをとらぬよう希望している。

（クラゲは、傘の直径が二〇ミリ内外の小型のもので、白色、半透明のものである。）

「若人」表紙図案入選

第五号連青機関紙発行に当り、教養委員で、表紙図案を募集、去る十八日委員会で選考の結果新保青年会、高山秀一君「若人の活躍」を採用することに決定、近く団員機関紙を配布することになつた。

なお次回第六号機関紙の表紙図案及び原稿を団員より応募致しておりますので、事務局までお出し下さい。

小須戸小学校々歌

勝承夫作詞
平井康三郎作曲

一、みどりは広やかに
　希望は大らかに
　花も明るく
　子供の広場
　霞む弥彦を窓に見て
　元気にのびる
　日にのびる
　われら小須戸の
　小学生

二、夢見る信濃川
　ゆくてははるゝと
　力集めて
　はてなく進む
　雪に鍛えて
　常緑樹の
　組み合う若葉
　なかよしが
　明日の日本
　うけつがう

三、桃咲く春の日も
　みのりの秋の日も
　通う学舎
　楽しい母校
　一人一人が
　この腕で
　やりぬく気風
　美しい
　われら小須戸の
　小学生

郵便貯金で郷土の建設を国土の建設を

小須戸町の皆様からあずけられた『郵便貯金』はこんなに役立ています

一、郵便貯金の総額はざつと五千八百億円という大きなものです。

このお金は大蔵省資金運用部から新潟財務部を通して私達の町や村を住みよくする事業に役立つております。

二、小須戸町の皆様からおあずかりした郵便貯金は

1、小須戸中学校建築に　壱千五百万円
2、矢代田小学校建築に　貳百五拾万円
3、小須戸小学校建築に　壱千八百万円
4、小須戸体育館（屋内運動場に）
5、小須戸町営住宅建築に　一千万円
6、水道改修工事に　六百万円
どれも年六分三厘の低利で十七年間又は六年間の長期償還

あなたの「郵便貯金」で
もつと……もつと……
すばらしく……
…住みよい町に…
…明るい町に…

ことしは月掛　積立貯金で（利率年四分二厘）
二年積立　一年積立　半年積立

婦人会に物申す

これが言いすぎか？

六月婦人会の斡旋で、化粧法の指導の御方が各町内の役員宅に行つたそうですが、成程身だしなみも一応女として文化社会に対しての「エチケット」でありますが故、婦人会で斡旋するのも「ウナヅケ」ますが、

併し、化粧料程宣伝などに迷わされず、その人その人に品物を選ばねば後で取返しのつかぬ危険な物も、全くないとは言えないのです。

それなのに数々のメーカーが新聞やラジオで、宣伝の競争の中でさつぱり聞いた事も、見た事もない会社を斡旋され、最も婦人会には、品物を売るのが目的でなく、化粧方法の指導だといわれたので斡旋されたのかも知れませぬが会社では品物を扱つているものなれば、直接美人になる指導を受ければ買いたくなるのが女の心理でありますので、一寸無分別な催しではなかつたでしようか。

それに年末の花売りなども町からの補助金が足りない為に活潑な活動が出来ないで、利益を目的でやられたのでありましようけれども控目にした方が嬉ばれたのではないかと存じます。

なお、聞くところによると町以外から役員の方々が売捌きに来られて困つたと言う苦情も聞いておりますが、町の貧弱さを世間まで知らせるような事と、町にも業者のある事などを考慮され、これからは相当慎重に望んで戴きたいと思います。

最後に婦人会の運営に会長さん初め役員の方々が、常々御苦労されて婦人の教養向上の為に努力されておられるのに、甚だ苦言を呈して申訳がありませんが一言居士の中村かと御聞き流し下さい。

新町　中村

お答え

御玉章拝見致しまして誠に恐縮致しました。

最初化粧料宣伝の人が来られました際、私共はもう年を取つて居りまして御化粧などの用はないから若い方から集つて貰つて御話をして下さいと申しましたところが、新潟市でも白根町でも皆講習を受けて下さつて、七十才以上の方……むしろ中年以上の方からとても喜んで貰つて居るので皆様は化粧料をお買い下さいというのではございませんから、御自分御自分のお肌の実質に合わない御化粧をされて居ては誠にお気の毒でございますから、御自分のお肌の性質に合つた物を御使用になつてお肌を艶えられるという事が一番大切な事でございますから、一度只皆様から聞いて頂き、見て頂くたけで結構なんですから……と申されましたので、近頃高価な化粧品が次々と出来て参りましたのに其の使用法もよく知らないで使用して居られる方もおありの事と存じまして、其の化粧法を見せて貰い、教えて貰う事ならよいかと存じまして、最初役員だけ私の宅で集まりまして見せて貰つた訳でございます。

その後御希望の班だけ又講習を受けられたところもございまして、自分達の肌の性質を調査して貰いまして、希望によりましては多少買い求めましたけど、当町の化粧品を販売なさつていらつしやる方々には、ほんとに御迷惑をおかけ致し申訳なく存じて居りますけど、又新潟市も数十ケ所の講習をして来た事、白根、庄瀬を廻つて来られた事など聞きまして、一応幹事の方々に御相談申上げまして無理に買わなくともその化粧法を教えて貰うだけでもよい事と存じまして、私共中年、老年の考えで集まりました訳でございます。

さて年末のお花売りは今年こそ私見非やめたいと思つて居るのでございます。ほんとに年こそ六十才も過ぎて居りますけど五十才迄籠の鳥生活を致しました世間知らずの常識に欠けて居ります私の事故何卒々々蔭に陽に御指示給わらん事を切に御願い申上げます。

連合婦人会長

國宝地蔵尊の保安庫建築に着工

かねてから計画の茂林寺地蔵尊保安庫建設については、信徒衆の皆さんはもちろん町民有志の方々からも大いに期待されておつたのでありますが、過日文部省及び、県社会教育課の指導によつて、「小須戸町重要文化財茂林寺地蔵保安庫建築委員会」が結成され、町長長谷川鉄太郎氏が、その委員長に就任されました。

そして、去る九月一日起工式をあげ、村祐組の手によつて、いよいよ工事を進めることになつたのであります。竣工は十月廿五日の予定になつております。

私達の町の国宝地蔵様を不事の災難よりお護りするためのこの保安庫が堅固で、しかも立派に出来上りますようお願いいたしたいものであります。

なをこの工事の収支予算は次の様になつております。（単位千円）

収入の部	一二一〇
内訳	
国庫補助金	三〇〇
県費補助金	二五
町費補助金	二〇〇
檀信徒及び有志寄附金	六八五
支出の部	一二一〇
内訳	
建築工事費	一〇四〇
人件事務費	一五〇
雑費	二〇

詩

「女心」

小須戸　阿部

醜いまでも細かすぎる女心
　払いのけんとすれども疑惑依然として
湧き出づる清水の如く
　何時消えるともなく我が心襲らす
朝な夕なに昨日もそして今日も
　否定せんともがけども悪魔依然として
浮き沈みせるが亡びる影もなく
　大手を広げ我が脳裏をおゝわんとす
悲しくも哀れなる女心
　大なる力にすがらんと努める果て
秘かに手にせるイエスの教えは
　今や清らけく我が心に唯嬉しくもひゞけり
此の心我にして我のみに非ず
　見栄疑惑嫉妬更に抱きし劣等感
泣きたい様な女心のみづたまり
　とこしえに〜葬り去らんと誓いけり

短歌

山鳩

佐藤幸助

ほろ〳〵と山鳩鳴けり山が路へ
　入りし思いに裏庭に佇つ
幾ばくもならぬ縫針刺しいたる
　母は小さく老い給いたり

弓道禮讃（一）

竜玄　星名正男

九月二十五日付新聞にオリンピック体操選手として久保田夫婦選手が決定された。世界でも夫婦揃つて出場する事は珍しく日本では始めてであると報じている。

世は正にスポーツの時代である。しかし現在のスポーツと名のつくものは殆ど学生と青年の占有物といつた感がある。更年期を過ぎた者など全く無視され、徒らに老年期の悲哀を感ずるのみ、人生老いて益々淋しき哉と嘆ぜざるを得まい。この点弓道は自分の体力に応じた強さの弓を引けばよいので、老幼強弱男女の別なく、たとえある種の不具者でも、両手さえ完全であつたら引くことができる。

先づ特異なスポーツとして第一に強調したいものである。

剣道、柔道の盛んな当町として弓道も一つ取り入れ、三道に盛んな武道の町としては如何と感じるものである。

射を行う場所も自宅の二坪の庭があつたら巻藁一ケを備えるだけで充分、時も選ばず相手も要らず二、三十分の寸暇を得れば毎日簡単に練習が出来る。このようにして練習した結果を週末に一回位道場に立寄つて的（まと）に向つて試してみることは、また何とも言えぬ楽しみなものである。

道場といえば昔の道場を思いおこすが何もそんなにいかめしい道場でなく一寸とした広場に古畳の二枚位ならべ、的前十五間あればそれで事足りるのである。耕地整理の二間道路を利用するのも又よい道場となるのである。秋晴れのもとに、すつきり晴れを大空の下で思う存分胸をはつてコロを引く事は、又何ともいえぬ感がするものである。（続く）

求人
男女従業員各一名入用
通勤住込随意高給支給す
本人来談のこと
吉田寫眞館
小須戸町一番町　電話39番